

### シンガポールの日本人ビジネスマンとの交流

白石 大河  
Taiga SHIRAIISHI  
電子情報学科 2年

#### 1. はじめに

今回、私はベトナムとシンガポールに行きました。ベトナムでは、魴の製造、販売をしている栄光堂への訪問、イオンモール散策、ソフトウェア開発会社の NTQ への訪問、ハノイ工業大学の学生との交流と、共同で実施するリサーチ活動、そして、リサーチ結果をまとめたプレゼンテーションを行いました。シンガポールでは、シンガポールと日本でのビジネスに関わる企業の支援をしている WASABI creation 代表の Tong さんによる講演会に参加し、また、南陽理工大学では講義、キャンパス見学、日本人学生との交流を行いました。加えて、Google 社での講演会、そして、シンガポール在住の日本人ビジネスパーソンとの交流会を行いました。

#### 2. 参加目的

私はこの ASEAN グローバルプログラム参加した理由は2つあります。一つは自分自身の見識を広めることです。なぜなら、日本にいたるだけでは見えないことも多くあり、さまざまな国の人々の考え方や日本人との考え方の違いを知りたかったからです。もう一つは東南アジアに行ってみたかったからです。この地域は今後も経済発展が著しいため、この機会を利用して行ってみたいと思ったためです。

#### 3. シンガポールの日本人ビジネスパーソンとのトークセッション

私たちはシンガポールにて5名の在住日本人ビジネスマンと交流しました。一人目に話をしたのは古林さんという方です。彼女はグッドジョブクリエイションのキャリアコンサルタントをしておられ、大

学時代にはカナダとアメリカに留学されたそうです。現在のお仕事は日本人が海外で働きたい時の支援や相談を行うことです。一番印象に残った話は、海外では新卒の人をなかなか採用しないということです。海外企業の多くは、新人教育にかかる時間もったいないと思っており、即戦力になる人を求めているという点で日本とは大きく違うことに驚きました。二人目は芝崎さんという方です。彼はグッドジョブクリエイションの社長であり、龍谷大学の卒業生でもあります。大学時代にはスウェーデンに留学されたそうです。一番印象に残ったことは、外国人は主張を表に出し、それを曲げず、迷わないということです。私はこれを聞いて、ベトナム人学生との交流の時に感じたことがあります。まず、ベトナム人学生との交流では、自分たちの考え積極的かつはっきり述べていました。それに対して、私は自分の意見を言いたくても英語で表現できずに、言うことができなかつたり、ベトナム人学生の意見に流されたりしたこともありました。こうしたことから、この話を聞いた時にはとても共感することができました。三人目は衣笠さんという方です。彼はゼネラルエレクトロニクスという日系企業が海外進出するときの支援をする仕事をしておられます。大学時代にはインドに留学されたそうです。一番印象に残ったことは、衣笠さんは常に挑戦をしていることです。彼は自分をあえてどん底の位置からのスタートさせることで、失敗を恐れずに立ち向かっているとおっしゃっていました。このメンタルの強さは自分も見習うべきところであると考えました。四人目は築野さんという方です。彼は、日本とシンガポールの両方で驚くほど多くの会社を起業させておられます。会社の仕組みがわかれば立ち上げることはできると簡単そうにおっしゃっていましたが、今まで立ち上げてきた経験があるからこそそう言えるのだなと感服しました。最後に講演していただいたのが加藤さんという方です。彼は実業家で日本を海外から揺さぶり、刺激を与える存在になるという目標を持ち、海外で会社を立ち上げようとする日本人に投資



図1 トークセッションに参加いただいた日本人ビジネスパーソンの方々

や支援をしている方です。一番印象に残っていることは、大学での生活が一番大事だということです。加藤さんは商学部に入ったものの、大学の授業ではビジネスの方法を学ぶことができなかったので、在学中に大学の先輩と一緒に起業し、そこで出会った様々な人たちと活動し、将来は皆が社長になることを目標としていたそうです。そこで共に活動した方は、今、全員が社長をしていると聞いてとても驚きました。全員が社長となって成功しているのは、そのメンバーはお互いを高めあうことのできる人たちであったからおっしゃっていました。大学はそういったモチベーションを持った人と会う大切な場所なんだと思いました。



図2 加藤さんのトークセッション

#### 4. おわりに

今回このプログラムを通して、自分がとても狭い世界で生きていることが分かりました。また、自分の意見をしっかりと表に出すという点においては、ベトナムやシンガポールの学生たち、トークセッションをしてくれた日本人ビジネスパーソンの方々を見習うべきであると考えます。また、英語が話せなくて、自分の考えを相手に伝えられないということがこんなにも悔しいとは思いませんでした。今後、この経験を活かして、英語を話せるように普段から話す機会を増やし、自分の意見が表に出せるようにしたいと思います。また、留学する機会があれば参加したいと思いました。